



## 「サンフランシスコ&シリコンバレー

### Break the Shell」

アメリカ・サンフランシスコ 8日間

1年 Mさん



#### 志望動機

① 英語力を向上させたかったから。

セッションでは全て英語でディスカッション、プレゼンを行う。その経験を通して「日本語の英訳」ではなく、自然と英語が頭に浮かぶようになりたいと思った。

② プログラムのテーマ「アントレプレナーシップ（起業家精神）」に興味があったから。

私は人文・数理探究類型に所属しており、探究活動をする上で必要となる思考力、主体性、課題発見力などを身に付けたいと思った。

③ 名門大学やシリコンバレーに行ってみたかったから。

このプログラムではカリフォルニア大学バークレー校に滞在し、スタンフォード大学、シリコンバレーにある楽天 USA を訪問した。

#### 現地での生活

大学内にある寮に滞在し、食事は大学内のカフェテリアでとる。4日間のモーニングセッションではディスカッションをし、最終日にプレゼンをした。7人の日本人学生に対し1人現地大学生のグループリーダーがついてくれる。午後は大学内を案内してもらったり、ゲストスピーカー（現地の大学教授や、現地で働いている日本人）による講演を聞いたりした。夕食後は希望者と添乗員さんとで地元のスーパーやドーナツショップなどに行き街を散策した。シリコンバレーにある楽天 USA とスタンフォード大学の見学に行く1日もあった。

#### 現地で学んだこと、感じたこと

モーニングセッションではディスカッション、プレゼンを通して「デザインシンキング」という思考法を学んだ。講義と違い、思考、発言を絶え間なくする必要があるため、表現力や思考の速度、集中力が向上したように思う。主体的に話し合っってアイデアを出していくというのはとても楽しく、達成感があった。生徒はみんな積極的に発言し、授業が生き生きとしていた。ディスカッションが停滞した時はグループリーダーが助言をくれ、意見を促してくれる。ネイティブの人は話すスピードが速い上に省略やリンキングが多くて、初めは1回で聞き取れなかった。だんだん慣れて聞き取れるようになると、意外に中学英語をよく使うと思った。単語、フレーズは難しくても文章のベースは中学校で習った構文だった。

#### 今後の目標

今回の留学で日本ではできない貴重な経験をし、多くの学びを得ることができた。この学びを今後の探究活動はもちろん、この先の人生にも活かしていきたい。また、英語漬けの日々の中で自分の成長を実感することができた。次回はもっと長期で留学をし、さらに自分の英語スキルを磨くとともにいろいろな国の文化に触れ見聞を広げたい。